

《E社》

所在地:津市(県内本社・グループ会社の本社は県外) 業種:サービス業(警備業)

従業員数:約260人(男性約230人・女性約30人)(非正規従業員含む)

「代替要員確保が難しい業種ながら、社内の協力により男性2人が育児休業取得」

事業内容が警備業ということもあり、人員確保を派遣社員等に対応することができないため、部署内での調整により、育児休業を取得することができました。グループ会社のコミュニケーション誌に男性育児休業者について掲載されており、制度を利用しやすい環境づくりのひとつとなっています。

【育児休業取得状況】

H17年度～H19年度:女性1人、男性2人

《育児休業者の声》オペレーター 育児休業期間:50日間

グループ会社のコミュニケーション誌で、「男性の育児休業取得について」という記事を読み、妻の希望もあり、1人目の子どもの産後休業中に育児休業を取得しました。始めは小さな子どもを抱っこするのさえ怖かったのですが、妻と協力し、沐浴やミルクの温度調節、子どもとの接し方など、わからないことの連続でしたが、手探りで育児を行いました。妻の負担を軽くするため、3時間おきの授乳のうち夜中の1回はミルクに切り替えるなど工夫しました。育児休業後の翌月は給与が少なく、金銭面で苦労しましたが、“生まれたばかりの我が子とふれあう”という、大変貴重な体験ができ、子どもとゆっくり接したことで、現在も積極的に育児参加しています。

《上司の声》支社次長

所属部署、役職により、代替要員の確保が難しくなると思います。

《育児休業者の声》警備職 育児休業期間:52日間

1子目(長女)がまだ小さい中で2子目の誕生であったため、育児休業を取得しました。長女に食事を作っても食べてくれず、また、寝かしつけが上手くいかず、戸惑いましたが、食事の味付けを工夫し、お菓子を減らすなど、生活リズムを整えることでうまくいきました。代替要員の確保が難しい部署で同僚に迷惑をかけましたが、通常勤務が不定休で24時間勤務もあるため、今回、育児休業したことにより、育児に専念できました。

《上司の声》管制司令

育児休業等については社会的に認められるものですが、一般的な認識や理解度についてはまだ薄いと思われます。職場の理解も必要であり、育児休業取得により、休業者の不利益になってはならないと思います。休業前に休業者との話し合いをし、調整が必要と思われます。復帰後には休業中に発生した事案や会社方針の指示伝達を行うなど、考慮しました。

《人事担当者の声》総務課主任

当社の業務の特殊性から、特に男性社員の場合、派遣社員、パート等の一時的な応援は難しく、休業中の応援体制の整備や他の社員への業務分担増などが懸念されます。実際のところ、育児休業取得は厳しいですが、法で定められており、育児休業取得者の声を聴いたり、赤ちゃんの写真をとても嬉しそうにメールで送ってきてもらうと、取得者にとって、とても良い制度であると思います。今後の課題としては、育児休業が取得しやすい環境・風土づくりや制度内容を各社員へ周知させること、人員確保を強化することです。

